

令和4年度 第4回 富塚小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年1月31日（火） 14時00分～15時00分
- 2 開催場所 富塚小学校 会議室
- 3 出席委員 吉原 忍、鈴木 秀俊、萩原 孝英、小宮山 文博、疋田 政明、藤田 耕介、石黒 かおり、片山 南平、津根 里美
- 4 欠席委員 平出 裕美子
- 5 オブザーバー 門奈 保典（富塚協働センター）、小楠 佳子（地域代表）
- 6 学 校 村松 一彦（校長）、土屋 里佳（教頭）、江間 慎一郎（教務主任）、新田 久美子（CSディレクター）
- 7 教育総務課 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 1人
- 9 会議録作成者 CSディレクター 新田 久美子

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、片山委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校関係評価について
- （2）学校運営協議会自己評価について
- （3）来年度の学校運営の基本方針

12 会議記録

司会の会長から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価について

議長の指示により、教務から、資料に基づき令和4年度の学校評価アンケートの結果と考察、改善案について説明があった。

次年度に向けて「粘り強く学習や物事に取り組む」「気持ちのよい挨拶、きれいな言葉遣い」「夢や項目に向かうこと」「開かれた学校」の各課題について、委員からは以下の発言があった。

○粘り強く学習や物事に取り組む

- ・自分の子供が目標を持って何かに取り組んでいる時、「頑張れ」ではなく「頑張っているね」という声掛けをするように気をつけている。そうすると子供は自尊心を高められるのではないかと思う。

今のあなたは素晴らしいということを知っているとよいのではないかと。(石黒委員)

- ・子供は自分の興味のあることには一生懸命になれる。興味を持たせることができればそれに向けて粘り強く自主的にやるようになるのではないかと。強制的にやらせてもやるようにならないと思う。

(疋田委員)

- ・私は高校で教員をしているが、高校生でも興味のないことはなかなかやらない。今、バンドフェスティバルというのを生徒が企画してやっている。やりたいと思うことに積極的に取り組んでいる。

(片山委員)

- ・先日、家庭科の調理実習のお手伝いをした。その時に子供たちが、自分で献立を考えて自分で作るというのをやっていた。みんな自主的に考えいろいろな料理を作っていた。取り組み方が素晴らしいと思った。(小楠さん)

- ・問題解決学習は高校でよくやっている。小学生のうちから地域の皆さんに手伝ってもらいながら、少しずつやっていくとよいと思う。(片山委員)

- ・先日ラジオで、父親が亡くなり医者を目指しているという子供の話を聞いた。子供は何かをしたい、しなければいけないと思うと頑張るようになると思う。自発的に動けるような働きかけが大事である。(萩原委員)

- ・資料に「ICT機器を活用した学習」とあるが、これはタブレットを使った授業のことですか？

(小宮山委員)

→ (校長より) そうです。先生が子供たちに課題を出し、それをやって提出したり、タブレット上のホワイトボードのようなものに意見を出し合ってそれをまとめたりする活動も行っていきます。

- ・キャリアパスポートとは何ですか？(小宮山委員)

→ (校長より) 前回の協議会でも紹介しましたが、目標を立ててそれを解決していく過程を1枚の紙にまとめるものです。

○気持ちのよい挨拶、きれいな言葉遣い

- ・「きれいな言葉遣い」とはどんな場面のどんな言葉遣いを教えているのですか？表現が少し分かりにくいように感じます。(萩原委員)

→ (校長より) 「きれいな言葉遣い」というのは、「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」という表現で指導しています。ふわふわ言葉を使いましょうという風に教えています。

- ・学校評価アンケートの挨拶の項目では、児童、保護者の評価は高く、職員の評価が低くなっているが、これはどうしてでしょうか？私は富塚小の子供たちは挨拶がよくできていると感じています。

(鈴木委員)

→ (校長より) 教員はもう少し高いところを目指しているのかもしれない。期待をこめているのではないかと。朝通学路に立っていると、冬はどうしても子供たちの声が小さいと感じる。時期によって違うということがあるのかもしれない。

- ・私は子供たちの挨拶は少し元気がないように感じる。もう少し大きな声で挨拶するとういよなと思うこともある。(疋田委員)

- ・朝犬の散歩で歩いていると、地域の方が家の外に立って子供たちに声を掛けているのを見かける。とてもよいことだと感じた。(小楠さん)
- ・声掛け事案、不審者情報などがメールで届くことがあるが、これはどの程度の声掛けのことを言っているのか。子供に挨拶などの声掛けをして不審者と間違えられないか心配ということがある。(小宮山委員)
- ・声を掛ける加減が難しい。場合によっては不審者と思われてしまうこともあるかもしれない。いつも決まったところに決まった人が立っていると安心感があるのではないか。(石黒委員)
- ・子供にばかり言うのではなく、大人も積極的に挨拶をすることが大事だと思う。(小宮山委員)
- ・老人会では地域のためにできることを探している。朝、通学路に立って挨拶をすることをやってみるとよいと思ったので老人会で提案してみたい。旗振りなどをするのではなく、立って挨拶をするだけでもよいと思う。(萩原委員)

○夢や目標に向かうこと

- ・夢や目標をなぜ持たないといけないのか、持つと何がよいのかを考えるきっかけとして子供の頃に誰にどんな話を聞いたか、どんな人の影響を受けたかということはとても大事だと思う。成功した方に話を聞くだけでなく、現在進行形で夢や目標に向かって頑張っている大学生や高校生、中学生の話を聞く機会を持つとよいのではないか。(吉原会長)
- ・子供は子供なりに、大小に関わらず夢はあると思う。なぜ頑張れないかというやり方が分からないのではないか。プロセスを教える、見せる機会があるとよいのではないか。夢を持つように言うだけでは難しいと思う。(疋田委員)
- ・夢や目標に向かって何をすればよいのか分からないのかもしれない。教えてもらえる機会があるとよいと思う。(片山委員)

○開かれた学校

- ・相談したいことはいろいろあるが、どこにすればよいのか分からないというのがある。情報が手に入りにくいと感じることがある。(鈴木委員)
- ・以前に比べると学校は開かれていると感じる。ブログの更新などもよくしてくれていると思う。うちの子供は担任の先生が作っている学級通信を宝物のように大事にしているが、どの先生にもそれを求めるのは負担だと思う。先生たちの負担にならないようにしなければならない。(藤田委員)
- ・開かれてはいるが、それが伝わっていないのではないか。学校にばかり教育を押し付けるのではなく、親子で学校の話をよくするようにするなど、親が積極的に関わる努力も必要だと思う。コロナ禍のため仕方ないのかもしれないが、運動会の時の保護者席が少ないように感じた。(疋田委員)
- ・コロナの分類が2類から5類になると、参観会や運動会などの行事も変わってくるのではないか。(吉原委員)

・学校が開かれていないと何が問題なのですか？（萩原委員）

→（校長より）もともと教育は学校が行うものとなっていましたが、地域と共にするものという考え方に変わってきています。学校と地域が共に教育を行っていくため開かれた学校である必要があります。

（２） 学校運営協議会自己評価について

議長の指示により、会長から、資料に基づき学校運営協議会自己評価の内容について説明があった。

（３） 来年度の学校運営の基本方針

議長の指示により、校長から来年度の学校運営の基本方針について説明があった。

その他の報告事項等

- ・教頭から、夢育やらまいかの予算について、校舎内に飾る生花、花壇の整備に使用した旨の報告があった。
- ・司会から、次回会議は令和5年4月21日（金）14時20分～15時20分 会議室で開催する旨の報告があった。